

1984～85年

年 次 報 告

昭和59～昭和60年度



横浜緑ロータリークラブ

見つけよう 奉仕の新生面

Discover a New World of Service

1984～85 R.I.会長 カルロス・カンセコ

——ロータリーを勉強しよう……Let's study Rotary!——

会 長 戸 田 裕 也

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	2
クラブ奉仕担当理事報告	6
出席委員会報告	6
職業分類委員会報告	10
親睦活動委員会報告	10
雑誌委員会報告	11
クラブ会報委員会報告	11
会員選考委員会報告	12
会員増強委員会報告	12
プログラム委員会報告	13
ロータリー情報委員会報告	17
広報委員会報告	17
S・A・A報告	18
社会奉仕委員会報告	18
青少年委員会報告	19
インターアクト委員会報告	20
ローターアクト委員会報告	21
職業奉仕委員会報告	21
国際奉仕委員会報告	22
世界社会奉仕委員会報告	23
ロータリー財団委員会報告	23
米山奨学委員会報告	25
会 計 報 告	26
横浜緑ロータリークラブ組織表	30
備 品 目 録	31
充填・未充填職業分類表	32

会 長 報 告

会 長 戸 田 裕 也

本年一年間大変お世話になり有難うございました。

『ロータリーを勉強しよう』というテーマをたて、1年間機会をとらえてはロータリーの基本を皆様方と考え直しながら過してきたつもりです。この目標への心暖まる皆様の御賛同感謝いたします。

私自身ロータリー歴13年目で会長の任務をお引き受けさせていただいたのですが、何年間ロータリーに在籍したから適格な会長になれるというものではありませんし、上野良一ガバナーノミニーは同じ13年目でガバナーになられるように人間の能力差というものは大変なものだと考えます。

本年がつつがなく無事終わりましたのも、前会長武藤松一さん、そして現副会長の田沼文衛会員の絶大な御指導・御支援のお蔭と改めてここに感謝の意を表します。

ややもすると①情性に流れ『ロータリーの本質』を見失ないがちになっている緑クラブ、又②多くの『優秀な先輩』を失ない航路を見失ないがちになっている緑クラブを、そして③基本的な『会則』の解釈の誤解により会員間に亀裂・軋轢を生じた事件等がヒントになり、どうしたら緑ロータリークラブを①若返らせ②現会員に活力が加わり又③新入会員にも魅力あるクラブにして④会員増強又退会者の防止に役立てられるものかと思慮し、やはりもう一度「温古知新」の精神で、原点に還ってみることが手っ取り早いと考え『ロータリーの奉仕の精神』の再確認の為に『ロータリーを勉強しなおそう』と考え皆様方を勉強会に御参加願ったわけです。これは勿論一年で終わるわけではなくロータリアンであるかぎり生涯の課題ですので、私のやったことは松明の火つけ役といえますか、ブースター効果といえますか、やや動きの鈍くなった、坂道をあえぎながら上る大八車を一寸助け押しをしてあげる働きだったと思います。しかしこれによって一人でも当クラブの中で、例会出席もメイクアップもせず、クラブの委員会活動にも参加しない、唯バッヂだけをつけ会費だけを払っていればよいのだという安易な考え方もつメンバーをも含めて、より高度な、より深遠なロータリーの世界への『扉』を開き、そこに踏み込む『鍵』が与えられ、感化を受けた方が出てこられれば望外の喜びであります。

幹 事 報 告

幹 事 寺 崎 誠 三
副幹事 岩 岡 正

クラブの概況

名 称 横浜緑ロータリークラブ
地 域 横浜市緑区 人 口 3 6 2, 0 4 3 人
世帯数 1 2 2, 9 4 0 (6. 30 現在)
事 務 所 横浜市緑区中山町 230 横浜銀行中山支店内
例 会 場 同 上
例 会 日 毎週水曜日 12:30～13:30
創 立 昭和45年2月28日 (スポンサークラブ 横浜港北RC)
昭和45年3月11日 RIの正式加盟承認
特別代表 山 崎 卯 一
昭和45年12月13日 認証状伝達式 4クラブ合同
(於 横浜市文化体育館)
昭和53年5月27日 横浜田園RC創立総会
於 三井銀行青葉台支店
(移籍会員4名)
昭和52年11月23日 桐蔭学園高校インターアクトクラブ
認証状伝達式挙行 (於 桐蔭学園)
昭和55年11月23日 桐蔭学園高専ローターアクトクラブ
創立総会 (於 桐蔭学園)
昭和59年3月27日 横浜たまRC創立総会
於 和光証券 (移籍会員5名)

付 記 所属地区は頭初第359地区、昭和49年7月第359地区より山梨県・静岡県を区域とする第362地区が分割され、当地区は神奈川県1県となりました。
昭和52年7月よりRIの地区変更により第259地区となりました。

1. 会 員 (6月30日現在)

(1) 会員の種類

正 会 員	3 1 名
シニア・アクティブ会員	1 4 名
計	4 5 名 (内 チャーターメンバー 7名)

(2) 年 令

36 ～ 40 才	2 名		
41 ～ 45 才	5 名	最高年令	79 才
46 ～ 50 才	4 名	最低年令	39 才
51 ～ 55 才	11 名	平 均	55 才
56 才 以 上	23 名		

現会員で当クラブ会員としての在籍年数

1 年 未 満	9 名		
2 ～ 3 年	3 名		
4 ～ 6 年	8 名	平 均	約 8 年
7 ～ 9 年	6 名		
10 年 以 上	19 名		

2. 例会来客数

例 会 数 50 回

来 客 数 ゲスト及ビジターの合計数 148 名

(内 ゲスト 58 名)

月	例 会 数	来 客 数	月	例 会 数	来 客 数
7	4	18	2	4	13
8	5	18	3	4	10
9	4	10	4	4	7
10	4	12	5	5	28
11	4	12	6	4	5
12	4	8			
1	4	7	計	50 回	148 名

一例会平均 約 3 名

〔入 会 者〕

近 藤 襄 君	59年 7 月11日再入会	産 婦 人 科 医
野 村 莊一郎 君	59年 8 月22日入会	外国為替銀行
土志田 猛 君	59年 8 月22日入会	不 動 産 業
小 林 新 一 君	60年 2 月20日入会	木 材 販 売
金 子 功 君	60年 3 月20日入会	都 市 銀 行

〔退 会 者〕

粟 島 優 君	59年 7 月12日退会	転 勤
近 藤 裕 義 君	60年 2 月13日退会	転 勤
武 藤 松 一 君	60年 2 月28日退会	移 転
渡 辺 武 君	60年 2 月28日退会	繁 忙
中 山 恒三郎 君	60年 4 月24日退会	一身上の都合

〔歴代会長・幹事及会員数、出席率〕

	会 長	幹 事	就 任 時 在籍会員数	年 出 席 間 率	備 考
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24 名	92.86 %	45年6月迄
45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24 名	98.58 %	
46～47	(秋 田 茂)	三 沢 君 夫	41 名	98.09 %	
47～48	小 林 安 雄	(高 橋 正 文)	40 名	94.29 %	
48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37 名	98.40 %	
49～50	鷗 川 昇	山 下 栄 蔵	39 名	97.67 %	
50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42 名	97.38 %	
51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47 名	98.60 %	
52～53	三 沢 君 夫	岡 本 健	48 名	98.82 %	
53～54	森 善 助	(浜 田 勝 弥)	47 名	98.57 %	
54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50 名	98.74 %	
55～56	岡 本 健	代々木 年 男	45 名	99.33 %	
56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50 名	99.18 %	
57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48 名	99.11 %	
58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50 名	97.86 %	
59～60	戸 田 裕 也	寺 崎 誠 三	45 名	96.31 %	
60～61	田 沼 文 衛	岩 岡 正	45 名	%	

〔チャーターメンバー〕 現会員 7 名

秋 田 茂	55. 2.20 死亡	足 立 英 一	46. 9. 1 退会
石 川 治 道	52. 6.30 退会	麻 生 和 衛	54.12.26 退会
岩 崎 董 正	57. 6.30 退会	藤 森 茂	47. 4. 5 退会
小 林 安 雄		浜 田 淳太郎	48. 1.31 退会
小 峰 政 博	48.10.20 退会 相模原南R Cへ	細 辻 文 次	47. 6.28 退会
中 山 恒三郎	60. 4.24 退会	岩 本 正 三	
柴 田 清	48. 4. 4 退会	松 田 三 郎	47. 6. 7 退会
鈴 木 憲 一	54. 9. 1 死去	三 橋 英 一	
土志田 昭 吉	54. 8.29 退会	名 倉 健 二	
岡 本 健		富 永 力	
志 田 宝	47. 1.29 退会	鷗 川 昇	
高 橋 正 文	50. 6.26 退会	吉 田 晴太郎	48. 5. 2 退会

クラブ奉仕担当理事報告

担当理事 田 沼 文 衛

会長方針「ロータリーを勉強しよう」がクラブ奉仕活動に反映し、クラブ奉仕の各委員長並びに委員の皆さんの協力により、充実した活動ができたことを感謝致します。

- 会員増強は期間中入会 5 名、退会 5 名、期末現在プラスマイナス 0 に止まった。
- 親睦活動は奉仕の原動力である。親睦委員の努力と会員各自の協力により成果を収めたが、全会員の参加には未だしの感があった。
- 出席・例会出席率は年間 96 % 以上で先ず先ずの成績であるが、地区大会、IGF 等の出席には消極的な面があり満足すべきには至らなかった。
- プログラム委員会、SAA の活動はクラブ奉仕の本旨に添ったよい成績をあげることができた。

出席委員会報告

委員長 飯 塚 金次郎

委員 加 藤 貞 夫

1. ホームクラブ出席率 100 % を目標に推進し、上半期・下半期毎に個人別出席状況を円グラフにして例会場に表示発表した。
2. ホームクラブ一年間無欠席会員に記念品を送り、感謝の意を表した。
3. 例会の出席報告時に、メイクアップもしないまま長期欠席の続く方は氏名を公表し、出席の呼びかけを全員に頼んだ。
4. 地区大会他各行事に積極的参加を御願いした。

1984～85（59～60）年度

1984	1 例 会 日 付	2 会 員 総 数 (名 誉 会 員) を 除 く	3 出 席 計 算 に 用 い た 会 員 数	4 出 席 又 は メー ク ・ ア ッ プ し た 会 員 数	5 百 分 率
7 月	4	4 5	4 1	4 1	1 0 0
	1 1	4 6	4 2	4 1	9 7. 6 2
	1 8	4 5	4 1	4 1	1 0 0
	2 5	4 5	4 1	3 9	9 5. 1 2
				合 計	3 9 2. 7 4
				平均百分率	9 8. 1 9
8 月	1	4 5	4 0	3 8	9 5. 0 0
	8	4 5	4 0	4 0	1 0 0
	1 5	4 5	4 0	3 9	9 7. 5 0
	2 2	4 7	4 2	4 1	9 7. 6 2
	2 9	4 7	4 2	4 2	1 0 0
				合 計	4 9 0. 1 2
9 月				平均百分率	9 8. 0 2
	5	4 7	4 3	4 1	9 5. 3 5
	1 2	4 7	4 3	4 1	9 5. 3 5
	1 9	4 7	4 3	4 2	9 7. 6 7
	2 6	4 7	4 3	4 3	1 0 0
				合 計	3 8 8. 3 7
10 月				平均百分率	9 7. 0 9
	3	4 7	4 2	4 1	9 7. 6 2
	1 0	休			
	1 7	4 7	4 2	4 1	9 7. 6 2
	2 4	4 7	4 2	4 0	9 5. 2 4
	3 1	4 7	4 2	4 1	9 7. 6 2
11 月				合 計	3 8 8. 1 0
				平均百分率	9 7. 0 3
	7	4 7	4 3	4 2	9 7. 6 7
	1 4	4 7	4 3	4 2	9 7. 6 7
	2 1	4 7	4 3	4 1	9 5. 3 5
	2 8	4 7	4 3	4 2	9 7. 6 7
12 月				合 計	3 8 8. 3 6
				平均百分率	9 7. 0 9
	5	4 7	4 3	4 1	9 5. 3 5
	1 2	4 7	4 3	3 8	8 8. 3 7
	1 9	4 7	4 3	4 1	9 5. 3 5
	2 6	4 7	4 3	4 1	9 5. 3 5
				合 計	3 7 4. 4 2
				平均百分率	9 3. 6 1

1983	1 例会日付	2 会員総数 (名誉会員) を除く	3 出席計算に用 いた会員数	4 出席又はメー ク・アップし た会員数	5 百 分 率
1 月	2	休			
	9	47	43	41	95.35
	16	47	43	39	90.70
	23	47	43	40	93.02
	30	47	43	42	97.67
				合 計	76.74
				平均百分率	94.19
2 月	6	47	43	42	97.67
	13	47	43	43	100
	20	47	43	43	100
	27	47	43	43	100
				合 計	397.67
3 月	6	45	41	40	97.56
	13	45	40	38	95.00
	20	46	41	38	92.68
	27	46	41	39	95.12
				合 計	380.36
4 月	3	46	41	37	90.24
	10	46	41	38	92.68
	17	46	41	39	95.12
	24	46	41	40	97.56
				合 計	375.60
5 月	1	45	41	38	92.68
	8	45	41	39	95.12
	15	45	41	38	92.68
	22	45	41	40	97.56
	29	45	41	40	97.56
				合 計	475.60
6 月	5	45	41	40	97.56
	12	45	41	39	95.12
	19	45	41	41	100
	26	45	41	39	95.12
				合 計	387.80
				平均百分率	96.95

年平均 96.31%

本年度個人100%出席者並びに連続100%の会員は下記の通りです。

○…本年度 100%

◎…ホームクラブ 100%

数字は連続年数

	前年度迄	本 年	計		前年度迄	本 年	計
赤 柄	7	○	8	城 田	3	○	4
遠 藤	4	○	5	田 沼	8	◎	9
古 谷	9	○	10	寺 崎	3	◎	4
飯 塚	1	○	2	戸 田	12	○	13
岩 岡	9	○	10	富 永	7	○	8
河 原	2	○	3	内 野	8	◎	9
小林昭	1	○	2	鵜 川	14	○	15
近藤巖		◎	1	藪 島	4	○	5
三 沢	10	○	11	山 下	11	○	12
森	5	○	6	横須賀	入会以来○	○	1
長 瀬	1	○	2	好 井		○	1
中 林	11	○	12	代々木	11	○	12
中 畑	3	○	4	土志田		入会以来○	
中 村	5	○	6	小林節		入会以来○	
大 島	1	○	2	金 子		入会以来○	
岡 本	9	○	10				

名

横井

職業分類委員会報告

委員長 豊 田 洋

副委員長 赤 柄 忠 昭

- 1) 本年度も地区ガバナーの方針に基づき、会員増強しやすい職業分類表を作成し、全会員に配布した。
- 2) 当地域における職業分類調査を行い、分類表を作成した。

親睦活動委員会報告

委員長 内 野 晃 副委員長 赤 柄 忠 昭

委 員 豊 田 洋 飯塚 金次郎 遠 藤 真 作

(近 藤 裕 義) 横 井 好 明 横須賀 和 吉

渡 辺 宏 未 近 藤 襄 土志田 猛

小 林 新 一 金 子 功

- ① 夜間例会，8月22日，10月31日，1月30日，5月29日の4回開催した。
(10月31日 ブラジル，ペルー，オーストリア，中国，スリランカの留学生招待)
(5月29日 中国，コスタリカ，ブラジル，韓国，スイス，イギリス，インドの留学生招待)
- ② 会員家族親睦会
(10月13日 レストランボートで隅田川下りを行った。)(参加34名)
(12月19日 横浜郵便貯金会館でクリスマス家族会を行った。)
- ③ 期末懇親会
6月19日 箱根の天成園で開催，ヒル親睦ゴルフ大会・平塚富士見C.C. ヨル囲碁大会。
- ④ 会員同志の親睦会
袋田温泉に一泊，デラックスバスで筑波万博を見学した。
- ⑤ 趣味の会
今迄ありましたゴルフ同好会に加えて，新しくテニス，囲碁，麻雀の同好会をつくり月1～2回行いました。時々個人の家庭で行った。
- ⑥ 婦人の会
10月にスカンヂヤ，2月に水車園で開催，婦人同志の親睦を深めた。

雑誌委員会報告

委員長 好 井 良 雄

委員 名 倉 健 二

戸田会長のテーマ「ロータリーを勉強しよう」に照し、雑誌委員の責務の重大さを痛感し、「ロータリーの友」愛読の啓蒙につとめた。

殊に、会長は率先垂範、友を精読して、タイムリーなトピックスの紹介につとめ、感謝している。

友2月号のガバナー座談会での「決議23-34」の削除に関しては、友6月号の「投書箱」にもあるように、日本はもとより、各国で大きな反響を呼んだことが推察され、他の委員会に対する良き資料の提供と考えられたが、何分にも期末を控えているので次年度において活発な討論会を企画して頂きたい。

クラブ会報委員会報告

委員長 横 井 好 明

副委員長 大 島 匡 佐

委員 小 林 敬 薮 島 五 郎

前半期の間は、誤字等で大変皆様にご迷惑をお掛け致しまして、申し訳ありませんでした。

後で読んで、その人、その人を想い出し乍ら、読んで戴ける様、又記録としても、読んでいる内に記憶が蘇る様に心掛けて、文章にも余り手を入れない様に、出来るだけ卓話者本人の口語体で掲載させて頂きました。

何かの編集をなさる時には、その人の味が出る事を念じております。

ロータリーの会報としての役務を何処まで真っ当、出来たかを考えますと、改善の余地も多く、問題になろうかと思えます。

何かと皆様のご協力を得まして1年の任期も終回に近づく事が出来ました事を、厚くお礼申し上げます。

会員選考委員会報告

委員長 古 谷 英 太 郎
委 員 名 倉 健 二
(中 山 恒 三 郎)

会員の選考に就いてはクラブ細則に定められて居る通り会員に推薦された人を個人的な面から調査検討し、その人が将来に向って、ロータリアンとして、その人格、職業上の地位、社会的にも適格であることが必要条件であることを基本的に選考しなければならないので、下記の通り

1. 最初の1年間のホームクラブへの出席義務。
2. 新入会員は各行事に対する出席（地区協議会、地区大会、IGF、炉辺会合）
3. 奉仕活動に積極的に参加。
4. 各財団への協力。
5. メークアップにより出席補填を行う。（出席率100%を目標）
6. 会費及び年間行事に対する金銭的負担に応ずる。
7. 個人的な奉仕活動の実行。
8. 企業としての奉仕活動の実行。
9. 個人の人柄（寛容の精神、社交性に欠けない人）
10. 家族にもロータリー活動への理解と積極的な協力を得られる人。

以上の諸点に就て実行出来るかどうかにつきプリントを作成し了解を得た上、署名捺印をお願いして既に4名の新入会員を選考した。

会員増強委員会報告

委員長 遠 藤 真 作
委 員 山 下 栄 蔵
岩 本 正 三

増強委員会には当初目標である会員増強5名の増強達成が出来ました。しかし残念乍ら退会者5名となり、結果的には0となりました。

しかし今期は特に量より質に重点を置き、会員皆様方の御協力を頂き増強に努力致して参りました。その結果、5名の優秀なる新会員を入会出来ました事、誠に喜ばしい事と存じます、と共に当クラブ

のためにもきっと貢献致してくれる事と確信致して居ります。

昭和58年7月1日現在	45名で
入会者	5名
退会者	5名(転勤者2名)
従って 最終会員	45名となりました。

以 上

プログラム委員会報告

委員長	中 村 彰 宏
副委員長	(近 藤 裕 義)
委 員	加 藤 勇 夫
	矢 島 誠 治

例会を、より楽しく意義あるものにする為、全会員の協力により卓話者を募り、プログラムを構成しました。

1. 東京工業大学の留学生を招き「我国と日本」というテーマで、いろいろな国の卓話を行なった。
2. RIの行事に併せてフォーラム及び卓話を盛り込んだ。
3. 各官庁による地域の卓話や会長経験者による卓話を入れた。
4. 会報に次月のプログラムを掲載し事前にPRを行なった。

横浜緑ロータリークラブ1984～85年度

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
第一週	4 日 会長・幹事 就任挨拶 クラブアッセンブリー	1 日 社会奉仕 フォーラム 河原委員長	5 日 卓 話 「日本ひとりぼ っち」 諸橋良吉氏 クラブアッセンブリー	3 日 職業奉仕 フォーラム 幸内委員長	7 日 ロータリー財団 フォーラム 代々木委員長	5 日 卓 話 年次総会
第二週	11 日 新年度計画 四大奉仕委員長	8 日 卓 話 緑消防署長 酒井 勝 氏	12 日 ガバナー 公式訪問	10 日 (休)	14 日 卓 話	12 日 卓 話
第三週	18 日 クラブ奉仕 フォーラム 田沼委員長	15 日 卓 話 「終戦記念日 にあたって」 森 会員	19 日 卓 話 緑警察署長	17 日 米山財団 フォーラム 森 委員長	21 日 クラブ奉仕 フォーラム 田沼委員長	19 日 クリスマス 家族会
第四週	25 日 卓 話 緑区長 横塚 瀬氏 定例理事会	22 日 夜間例会 定例理事会	26 日 青少年 フォーラム 三沢委員長 クラブアッセン ブリー	24 日 卓 話 「世相雑感」 鶴川会員 定例理事会	28 日 国際奉仕 フォーラム 中畑委員長 定例理事会 クラブアッセンブリー	26 日 前半を顧りみて 会長・幹事 定例理事会
第五週		29 日 卓 話 「コピーライターの 世界」 野村文男 氏 クラブアッセンブリー		31 日 夜間例会		
主な行事	定例理事会 第 4 例会時		青少年月間 地区大会 9/15～9/16	職業奉仕月間 米山週間 (第 1 週)	ロータリー 財団月間 アジア地域大会 フィリピン マニラ 11/14～11/17	

(昭和59～60) 年間プログラム予定表

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
2 日 (休)	6 日 卓 話	6 日 卓 話	3 日 卓 話	1 日 卓 話	5 日 卓 話 クラブアッセン ブリー
9 日 年頭に あたって 会 長	13 日 職業奉仕 フォーラム 幸内委員長	13 日 国際奉仕 フォーラム 中畑委員長	10 日 雑誌月間 好井委員長	8 日 卓 話	12 日 一年を顧りみて 四大奉仕 委員長
16 日 社会奉仕 フォーラム 河原委員長	20 日 世界理解月間 大島委員長	20 日 卓 話	17 日 卓 話	15 日 卓 話	19 日 期末懇親会
23 日 卓 話 定例理事会	27 日 卓 話 ロータリー 創立記念日 山崎卯一氏 定例理事会 クラブアッセンブリー	27 日 卓 話 定例理事会	24 日 卓 話 定例理事会 クラブアッセンブリー	22 日 卓 話 定例理事会	26 日 会務終了に あたって 会長・幹事
30 日 夜間例会				29 日 夜間例会	
	世界理解月間 創立記念日 2/23 第3・4 区 I.G.F. 2/26		雑誌月間	地区協議会 国際大会 米国ミズリー州 カンサスシティ 5/26-5/29	

地区及び分区その他会議及び諸行事

59. 3. 25 (日)	次期会長幹事会	産賀ビル	2名
7. 8 (日)	ローターアクト委員会		1名
9. 8 (土)	米山委員長会議	ザ・エルシー 15:00～16:30	1名
9. 15 (土) ～ 9. 15 (日)	地区大会	出席 29名	
9. 19 (水)	職業奉仕委員長会議	ザ・エルシー 14:00～16:00	1名
9. 26	横浜港南 RC 15周年記念式典	万珍楼 18:00～20:30	1名
10. 6 (土)	茅ヶ崎中央 RC チャーターナイト	茅ヶ崎市民文化会館 外	2名
10. 27 (土)	横浜たま RC チャーターナイト	TBS緑山スタジオ 14:30～	28名
11. 6	会員増強セミナー	スカイビル 8F 14:00～17:00	2名
11. 12 (月)	社会奉仕委員長会	スカイビル 14:00～16:00	1名
11. 23 (金)	インターアクト年次大会		2名
11. 24 (土) ～ 26 (月)	ロータリー研究会		
60. 1. 20 (日)	ローターアクト委員長会	神奈川県婦人会館 13:00～16:00	1名
2. 16 (土)	第3・第4分区 I G F	高島屋	47名
2. 22. (金)	横浜東 RC 30周年記念式典	東急ホテル 17:00～	1名
3. 6	川崎北 RC 25周年記念式典	ザ・エルシー 11:00～	2名
3. 14 (木)	クラブ雑誌委員長会議	川本工業ビル 8F 14:00～16:00	1名
3. 24 (日)	次期会長幹事研修セミナー		2名
5. 12 (日)	地区協議会	洗足学園大学・川崎中ホスト	15名
5. 20	米山奨学生オリエンテーション	スカイビル	1名
6. 8 (土)	川崎中央 RC チャーターナイト		1名
6. 16 (日)	RA地区協議会		4名
6. 17 (月)	神奈川 RC 25周年記念式典	ホテルリッチ横浜 17:00～	1名

ロータリー情報委員会報告

岡 本 健
(武 藤 松 一)
戸 田 裕 也

従来の炉辺会合は新会員の教育を主眼に少人数で開催されていましたが、今期は新旧を問わず多数の会員の御出席を願い、ロータリーを勉強すると云う形式で行いました。一つ一つの御意見が広く理解されて、それなりの成果があったと思います。

他にロータリー情報を週報に掲載した。

又、パスト会長並にパスト幹事をお願いして例会でミニ情報をスピーチして頂いた。

広報委員会報告

数 島 五 郎
好 井 良 雄
(渡 辺 武)

1. 社会奉仕委員会に協力、バザーの実施。
2. 中里学園クリスマスパーティー参加、園児との懇親をはかる。
3. 予算の都合で外部の方を例会に呼んで卓話ができなかったので、バザー用の幕を作成、今後の広報活動に利用する。

S. A. A. 報 告

S A A 山 下 栄 蔵
副S A A 赤 柄 忠 昭
飯 塚 金 次 郎
横 井 好 明

全般的に見て、秩序ある中にも、なごやかな例会場となり、非常によい雰囲気で開催が出来たと思います。

1. 例会中の禁煙実施を致しました。
2. 例会の着席位置をその都度変えていただきました。
3. 委員会報告についての事前申出を実施致しました。
4. 例会欠席の場合の連絡徹底にご協力いただきました。
5. 記念品は家庭実用品にしました。
6. スマイルBox は自発的にお願い致しましたが、予定以上の成果があがりました。

社会奉仕委員会報告

委員長 河 原 照 忠
副委員長 岩 岡 正
委 員 城 田 昭 次
代々木 和 男

- ① 11月にバザーを行い、売上金171,700円に28,300円を予算の中からプラスし、十日市場に建設を予定されている身障者施設の一部にと200,000円を寄付致しました。
- ② 12月21日、中里学園のクリスマスパーティーに子供達へクリスマスプレゼントを持参し、大変喜ばれました。
- ③ 特養ホームひかり苑を訪問し、施設のかかえている問題点、又老人達の持っている悩み等を聞いて参りました。
- ④ ひかり苑を訪問し、21カラーテレビ、車椅子をプレゼント致しました。
- ⑤ 緑区少年野球連盟に105,000円を寄付致しました。
- ⑥ 緑区史編纂資金の一部として100,000円を寄付致しました。

青少年委員会報告

委員長 三 沢 君 夫
副委員長 城 田 昭 次
委 員 小 林 安 雄
矢 島 誠 治

- ① ローター、インター両クラブ例会にロータリアンの3分間スピーチを実施し、学生との親睦の輪を拡げられ目的達成に邁進し得たものと思われ。
- ② 青少年活動月間（9月）にアッセンブリを実施、会員より活発な発言があり、今後の青少年活動の在り方に貴重な指示を得た。
- ③ ライラへの積極的参加は意の如くならず、之を如何にPRし多くの参加者を集めるかが、今後残された重要なポイントになると思う。

以 上

インターアクト委員会報告

委員長 中 林 靖

副委員長 古 谷 英太郎

委 員 三 橋 英 一 小 林 安 雄

鵜 川 昇 (中 山 恒三郎)

1. インターアクトクラブの例会にRC会員の出席を勧奨するのが不十分であった。
2. 11/11(日), 第17回インターアクト年次大会が川崎大師平間寺信徒会館に於いて行われた。
3. I.A.C.とR.A.C.や社会奉仕委員会との協同の奉仕が実施出来なかった。

桐蔭学園高等学校 I.A.C 活動報告

顧問教師 田 中 実

会 長 大 供 孝

副 会 長 原 田 泰 宏 会員数 84名

幹 事 上 田 浩 正

1. 市ヶ尾駅, 鶴見川サイクリングロード(緑区内)清掃
2. 中里学園児を鵬翔祭(文化祭)に招待。
3. 古切手, ペルマーク等の収集に努力。
4. I A C 年次大会に参加した。(川崎大師平間寺信徒会館)

ローターアクト委員会報告

委員長 富 永 力
副委員長 田 辺 政 雄 鷗 川 昇
委 員 三 沢 君 夫 城 田 昭 次
加 藤 貞 夫

1. 地区の病院並びに福祉、施設に対して、清掃慰問学習ボランティア活動等、多数の社会奉仕活動に永年寄与している功績を記念して社会奉仕功労章を贈呈した。
2. 県立^{ヤドリキ}寄青少年キャンプ場に於いて、中里学園・桐蔭学園高専の共同キャンプ生活に多数の会員と参加、共同生活の大切さを一緒に学んだ。
3. TBS緑山スタジオ見学に同行し、スター達の華やかさの裏の職業人としての厳しさを知り、ローターアクトと共に得る所が多かった。

職業奉仕委員会報告

委員長 幸 内 伸 雄
副委員長 小 林 敬
委 員 三 橋 英 一 林 達 磨
山 下 栄 蔵

職業奉仕フォーラムを通じ理解を努めたが、委員会としての行事は出来なかったことを深く反省しています。

国際奉仕委員会報告

委員長 中 畑 龍 二
副委員長 加 藤 勇 夫
委 員 名 倉 健 二
城 田 昭 次

国際理解と親善を増進し、親睦を深め、多くのクラブ会員が参加した活動が出来たと思います。

1. 昭和59年7月9日から7月12日の間、ハワイ（第500地区）インターアクトのホームステイを行った。（加藤勇夫会員、中畑会員）

日本の風習、生活様式、言葉の障害などがあったが、ファミリーと親しく溶けこんで楽しい生活を送ってもらいました。

2. 東京工業大学留学生を夜間例会に計2回（19名）招待して国際理解を深めました。
3. 東京工業大学留学生を卓話者として例会場に招き、「自国の紹介と日本の印象」を語ってもらいました。

昭和60年5月 8日 エルニング・ウィハルジョ（インドネシア）

// 5月15日 ベドロ・エンリケ・アペ・ミギタ（ペルー）

// 5月22日 ジョセフジョーラ・ドウラン（米国）

// 5月29日 森田矢次郎教授「留学生10万人時代」

4. 昭和60年6月1日、韓国慶州ナザレ園を訪問し、ユカタ20、帯20本と10,000W（ウォン）を寄贈し、大変感謝されました。
5. 韓国大邱松林ロータリークラブとの姉妹結縁関係は5年目を迎えましたが、昭和60年6月2日山下団長以下6名が訪韓し、友好的話し合いの結果、昭和60年4月29日をもって期間の延長は行わないという事になりました。しかし長い年月の間に培われた友好と親善は、今後も継続して行きたいという結論に達しました。

世界社会奉仕委員会報告

委員長 大 島 匡 佐
副委員長 森 善 助
委 員 河 原 照 忠
長 瀬 正 作

世界理解月間（２月）に際し、６０年２月２０日の例会で、ロータリアンとして世界理解と親善と平和の必要性を強調し、その後、森善助会員から中国見聞記を話していただき、世界理解の一助としてもらいました。

ロータリー財団委員会報告

委員長 代々木 和 男
副委員長 林 達 磨
委 員 加 藤 貞 夫
岡 本 健

- １）財団への理解協力は反応に今ひとつ乏しく種々反省しています。
- ２）奨学生の推薦は、ほぼ満足のいく条件で２名を推薦した。
- ３）当クラブ先輩奨学生の現況の把握は書面を送付したが全く返信がなかった。

。ポールハリスフェロー（敬称略）

現会員

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 古 谷 英太郎 | 8. 名 倉 健 二 | 15. 鷺 川 昇 |
| 2. 岩 本 正 三 | 9. 岡 本 健 | 16. 矢 島 誠 治 |
| 3. 岩 岡 正 | 10. 田 辺 政 雄 | 17. 山 下 栄 蔵 |
| 4. 小 林 安 雄 | 11. 寺 崎 誠 三 | 18. 好 井 良 雄 |
| 5. 三 沢 君 夫 | 12. 戸 田 裕 也 | 19. 代々木 和 男 |
| 6. 森 善 助 | 13. 富 永 力 | |
| 7. 長 瀬 正 作 | 14. 内 野 晃 | |

家 族

田 辺 しげ子

森 玉 江

○準フェロー（敬称略）

1. 赤 柄 忠 昭

2. 遠 藤 真 作

3. 林 達 磨

4. 飯 塚 金次郎

5. 加 藤 勇 夫

6. 加 藤 貞 夫

7. 河 原 照 忠

8. 小 林 敬

9. 幸 内 伸 雄

10. 近 藤 襄

11. 三 橋 英 一

12. 中 林 靖

13. 中 畑 龍 二

14. 中 村 彰 宏

15. 大 島 匡 佐

16. 城 田 昭 次

17. 田 沼 文 衛

18. 豊 田 洋

19. 渡 辺 宏 未

20. 数 島 五 郎

21. 横 井 好 明

家 族

1. 岩 岡 明 子

2. 三 沢 良 子

3. 長 瀬 すみ子

4. 田 辺 益 美

5. 寺 崎 きつえ

6. 戸 田 堯 子

7. 富 永 み や

米山奨学委員会報告

委員長 森 善 助
副委員長 長 瀬 正 作
委 員 岩 本 正 三
三 橋 英 一

- ① 普通寄付金を1人当たり3,500円として当緑ロータリークラブの寄附は累計(59.12.31現在)で6,532,750円で第259地区内第16位である。

- ② 米山功労者(30万円以上)寄附者 6名

1. 岩 岡 正	4. 森 善 助
2. 小 林 安 雄	5. 長 瀬 正 作
3. 三 沢 君 夫	6. 田 辺 政 雄

米山準功労者(3万円以上) 24名

1. 赤 柄 忠 昭	9. 中 畑 龍 二	17. 内 野 晃
2. 遠 藤 真 作	10. 中 村 彰 宏	18. 鵜 川 昇
3. 加 藤 勇 夫	11. 岡 本 健	19. 渡 辺 宏 未
4. 加 藤 貞 夫	12. 城 田 昭 次	20. 藪 島 五 郎
5. 小 林 敬	13. 田 沼 文 衛	21. 山 下 栄 蔵
6. 幸 内 伸 雄	14. 寺 崎 誠 三	22. 横 井 好 明
7. 名 倉 健 二	15. 戸 田 裕 也	23. 好 井 良 雄
8. 中 林 靖	16. 富 永 力	24. 代々木 和 男

- ③ 米山月間の10月17日、米山奨学生の李 義 東氏、東京工業大学院生を招いて「米山奨学生の感想」と題して卓話を行った。

- ④ 1965年4月より 崖 亨振氏 を米山奨学生として当クラブで2年間お世話することになりました。(東京工業大学大学院修士課程、物理情報工学専攻)

尚、カウンセラーとして森善助が委嘱されました。

60年5月20日(日)、米山奨学生オリエンテーションが開かれて奨学生とカウンセラーが出席しました。

会 計 報 告

(1984. 7 ～ 1985. 6)

会 計 (武 藤 松 一)

副 会 計 (近 藤 裕 義)

加 藤 貞 夫

〔 一般会計の部 〕

(収入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
年 会 費	5,875,000	5,909,000	
入 会 金	500,000	300,000	
雑 収 入	0	164,280	
前 期 繰 越	253,722	253,722	
収 入 合 計	6,628,722	6,627,002	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
本 部 資 金	245,688	389,619	
地 区 分 担 金	651,000	610,000	
地 区 大 会 分 担 金	225,000	225,000	
I G F 分 担 金	135,000	164,500	
地 区 協 議 会 分 担 金	74,000	16,000	
米 山 資 金	157,500	161,000	
予 備 費	45,534	0	
分 担 金 支 出 合 計	1,533,722	1,566,119	
例 会 費	120,000	281,857	
記 念 品	300,000	291,340	
通 信 費	125,000	77,780	
消 耗 品 費	40,000	16,759	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
印 刷 費	4 0 0,0 0 0	4 8 0,8 0 0	
事 務 委 託 費	1,3 5 0,0 0 0	1,2 4 0,0 0 0	
備 品 費	3 0,0 0 0	5,0 0 0	
交 際 費	3 0,0 0 0	6 4,0 0 0	
雑 誌 文 献 費	5 0,0 0 0	3 3,9 1 1	
慶 弔 費	5 0,0 0 0	2 5,0 0 0	
予 備 費	3 0,0 0 0	3 0,0 0 0	
総 務 費 計	2,5 2 5,0 0 0	2,5 4 6,4 4 7	
出 席	6,0 0 0	0	
職 業 分 類	0	0	
親 睦	1,0 0 0,0 0 0	9 6 0,5 0 1	
雑 誌	0	0	
会 報	9 5 0,0 0 0	1,1 7 3,4 1 0	
会 員 選 考	0	0	
会 員 増 強	0	0	
プ ロ グ ラ ム	5 0 0,0 0 0	2 5 3,0 0 0	
R 情 報	0	0	
S A A	5 0,0 0 0	8 0,6 1 2	
雑 費	1 0,0 0 0	1,3 9 6	
広 報	3 0,0 0 0	0	
予 備 費	2 4,0 0 0	0	
事 業 費 計	2,5 7 0,0 0 0	2,4 6 8,9 1 9	
支 出 合 計	6,6 2 8,7 2 2	6,5 8 1,4 8 5	

〔特別会計（食事）の部〕

（収入の部）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
年 会 費	3,055,000	3,071,000	
ビ ジ タ ー 登 録 料	160,000	120,000	
雑 収 入	0	348	
前 期 繰 越 金	21,412	21,412	
収 入 合 計	3,236,412	3,212,761	

（支出の部）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
例 会 食 事 費	3,100,000	3,100,000	
予 備 費	136,412	136,412	
支 出 合 計	3,236,412	3,236,412	

〔特別会計(奉仕)の部〕

(収入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
スマイル	1,000,000	1,275,000	
雑収入	150,000	3,900	
前期繰越金	1,111,500	1,111,500	
収入合計	2,261,500	2,390,400	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
職業奉仕	50,000	0	
社会奉仕(一般)	500,000	495,179	
〃 (青少年)	0	0	
〃 (インターアクト)	100,000	100,000	
〃 (ローターアクト)	100,000	108,300	
国際奉仕	100,000	100,000	
世界社会奉仕	0	0	
予備費	1,411,500	240,700	
支出合計	2,261,500	1,244,179	

一 般 会 計	45,517円
特 別 会 計	1,107,151円
〃 スマイル	1,146,221円
	2,298,889円(次期繰越)

横浜緑ロータリー・クラブ組織表

15

1984～1985年度（昭和59年～昭和60年度）

1. 理事 戸田裕也 田沼文衛 岡本健 河原照忠
三沢君夫 幸内伸雄 中畑龍二

2. 役員 会長 戸田裕也 副幹事 岩岡正
幹事 寺崎誠三 副SAA 赤柄忠昭
副会長 田沼文衛 " 飯塚金次郎
SAA 山下栄蔵 " 横井好明
会計 (武藤松一) 副会計 (近藤裕義)
加藤貞夫 親睦活動委員長 内野晃

3. 委員会 (◎印 委員長 ○印 副委員長)

A クラブ奉仕委員会 (担当理事) ◎田沼文衛 ○中村彰宏 幸内伸雄

1. 出席委員会 ◎飯塚金次郎 ○加藤貞夫
2. 職業分類委員会 ◎(渡辺武) ○豊田洋(2) 赤柄忠昭(3)
3. 親睦活動委員会 ◎内野晃 ○赤柄忠昭 豊田洋 飯塚金次郎
遠藤真作 幸内伸雄 中畑龍二 加藤勇夫
(近藤裕義) 横井好明 横須賀和吉 渡辺宏未
近藤襄 土志田猛 野村壮一郎 金子功
小林新一
4. 雑誌委員会 ◎好井良雄 ○名倉健二
5. 会報委員会 ◎横井好明 ○大島匡佐 小林敬 藪島五郎
6. 会員選考委員会 ◎古谷英太郎 ○名倉健二 (中山恒三郎)
7. 会員増強委員会 ◎遠藤真作 ○山下栄蔵 岩本正三
8. プログラム委員会 ◎中村彰宏 ○(近藤裕義) 加藤勇夫 矢島誠治
9. ロータリー情報委員会 ◎岡本健 ○(武藤松一(2)) 戸田裕也(3)
10. 広報委員会 ◎藪島五郎 ○好井良雄 (渡辺武)

B 社会奉仕委員会 (担当理事) ◎河原照忠 ○岩岡正 城田昭次
代々木和男

1. 青少年担当理事 ◎三沢君夫 ○城田昭次 小林敬 矢島誠治
2. インターアクト委員会 ◎中林靖 ○古谷英太郎 三橋英一 小林安雄
鵜川昇 (中山恒三郎)
3. ローターアクト委員会 ◎富永力 ○田辺政雄 三沢君夫 鵜川昇
城田昭次 加藤貞夫

C 職業奉仕委員会 (担当理事) ◎幸内伸雄 ○小林安雄 三橋英一
林達磨 山下栄蔵

D 国際奉仕委員会 (担当理事) ◎中畑龍二 ○加藤勇夫 名倉健二
城田昭次

1. 世界社会奉仕委員会 ◎大島匡佐 ○森善助 河原照忠 長瀬正作
2. ロータリー財団委員会 ◎代々木和男 ○林達磨 加藤貞夫 岡本健
3. 米山奨学委員会 ◎森善助 ○長瀬正作 岩本正三 三橋英一

備 品 目 録

品 名	数 量	品 名	数 量
ロータリーの鐘とハンマー	1	アクリル名札板	1
国 旗	1	卓上名札	23
クラブ旗	1	テーブル・クロス	21
認 証 状	1	コーヒー・セット	40
スマイル・ボックス	1	マホー・ビン	10
グッド・ウィル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
レクチャー・アンプ	1	茶 棚	1
テープ・レコーダー	1	シュガー・ポット	6
レコード・プレーヤー	1	ナプキン立て	6
レコード(ロータリー・ソング)		調味料入れセット	6
ワイヤレス・マイク	3	クラブ小旗(さお共)	10
会員個人別ボックス	2	クラブ印(角)	1
書 庫	2	クラブ会計印	1
バナー掛(各クラブのバナー共)	2	書 類 棚(W90×H180)	2
バナー立て	13	冷 蔵 庫	1
タ ス キ	11	スマイル・レポート入れ	12
パ ネ ル	19	スイス・カウベル	1
写 真 機	1	漆谷RCから点鐘台(大邸松林RC)	1
黒 板	1	〃 記念楯	1

充填・未充填 職業分類表

正 会 員 (ACTIVE)

昭和 59 年 8 月 31 日現在

関 連	職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
	内 科	医 科			
医 術	内 科	Physician			
	外 科	Surgeon	内 野 晃	内野医院	院 長
	小 児 科	Pediatrist			
	産 婦 人 科	Obstetrician and Gynecologist	近 藤 襄	近藤医院	院 長
	歯 科	Dentist			
施 設 及 び 病 院	口 腔 外 科	Oral Cavity Surgeon	林 達 磨	林齒科医院	院 長
	病 院	Hospital	戸 田 裕 也	長津田厚生総合病院	院 長
	高 等 学 校	Senior High School			
教 育	幼 稚 園	Kindergarten			
	私 塾	Private School	矢 島 誠 治	中山学園	経 営 者
	弁 護 士	Lawyer			
ビ ジ ネ ス サ ー ビ ス	税 理 士	Tax Service	(渡 辺 武 夫)	渡辺武税理士事務所	所 長
	経 営 相 談	Business Counseling Service	加 藤 貞 夫	加藤税務会計事務所	所 長
	司 法 書 士	Judiciary Scribner Service			
	仏 教	Buddhism			
宗 教	神 道	Shintoism			
	送 風 器	Blower			
	機 械 設 置	Construction Machinery	山 下 栄 蔵	山下工業㈱	取締役社長
機 械 及 び 装 置	履 帯	Caterpillar			
	板 金 工 作	Sheet Metal Working			
	金 型 製 造	Molds Mfg			
金 属 加 工 業					
自 動 車 工 業	自 動 車 販 売	Automobile Dealers	豊 田 洋	北京浜三菱自動車販売㈱	社 長

2/28
退会

関連	職業分類			会員名	勤務先	役職名
	業	分	類			
自動車工業	自動車修理	Automobile Repairing		小林 敬	(株)ブラザーモーター	代表取締役
リクレーション	体育訓練	Physical Training				
電気及び電子工業	電気工事	Electric Construction				
	電気器具製造	Electric Appliance Mfg		藪島 五郎	関東電気(株)	取締役相談役
技術	測量	Land Surveying				
物理療法	物理科医	Physical Therapeutics		加藤 勇夫	加藤接骨院	院長
プラスチック工業	ビニール高周波加工	Vinyl High Frequency Processing				
	金型製造	Mold Mfg				
印刷及び出版	書籍販売	Book Dist				
鉱油工業	石油製品	Refined Oil Products		岩岡 正	岩岡商事(株)	代表取締役
	ガソリン販売	Gasolin Dist		城田 昭次	(株)城田石油	代表取締役
船舶及び航海用具	船舶修理	Ship Repairing		(田) 辺 政雄	大丸工業(株)	代表取締役
銃器及び火薬	銃器	Fire Arms				
通信事業	電話事業	Telephone Service		大島 匡佐	中山電報電話局	局長
	情報通信	Information		横井 好明	横井通信工業(株)	代表取締役
	建築請負業	General Contracting		渡辺 宏未	機渡刃工務店	代表取締役
	建築設計	Architect		寺崎 誠三	(有)寺崎工務店	代表取締役
建設業	建築	Building Construction				
	土木工事	Public Works		(三) 橋 英一	三橋建設(株)	取締役社長
	舗装工事	Pave Construction		飯塚 金次郎	宇路建設(株)	代表取締役
建築材料資材	建築材料	Building Material		代々木 和男	機代々木商店	取締役社長
	アスファルト製品	Asphalt Products		中 林 靖	日本舗材(株)	取締役会長

7/24
シニア

2/28
シニア

関連	職業分類			会員名	勤務先	役職名
	生コン配布	設備工事	分類			
建築材料資材	生コン配布	設備工事	Concrete Distributing	幸内伸雄	日建輸送㈱	代表取締役
家具及び家内装飾	家庭用家具	室内装飾用品	Equipment Construction	遠藤真作	㈱遠藤製作所	社長
			Household Furniture			
不動産			Upholstering			
	不動産業		Real Estate Agency	土志田 猛	㈱岩本不動産商会	代表取締役
	ビル賃貸		Building Renting			
運	貸スタディオ		Renting Studio			
	貨物自動車輸送		Trucking Service			
	旅行幹旋		Tourist Agency	赤柄 忠 昭	サン東総業㈱	専務取締役
衣料	綿製品		Cotton Goods	河原 照 忠	㈱トーカーイ横浜支店	支店 長
	リネンサービス		Linen Supply			
農業及び造芸	農業		Agriculture			
	飼料		Feeds			
畜産業	獣医		Veterinary Surgeon	中畑 龍 二	中畑動物病院	院 長
	木材販売		Lumber Dist	小林 新 一	小林建設林業㈱	代表取締役
林業	酒精飲料		Alcoholic Beverage			
	食品輸出入		Food Importing & Exporting			
食	都市銀行		City Banking	(近藤 裕 義) 金子 功	三井銀行青葉台支店	支店 長
	地方銀行		Local Banking	横須賀 和 吉	横浜銀行中山支店	支店 長
	外国為替銀行		Foreign Exchange Banking	野村 壮一郎	東海銀行中山支店	支店 長
	信用金庫		Credit Banking			
印刷及び広告	広告業		Advertisement			
	理容院		Barber			
美容	美容		Beauty Shop	中村 彰 宏	㈱中村アルモニー	代表取締役

8/22入会

2/20入会

2/13退会
3/20入会

8/22入会

シニア・アクチブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元	職	業	分	類	会 員 名	勤 務 生	役 職 名
清 酒 飲 料	ビニール高周波加工	Vinyl High Frequency Processing	Alcoholic Beverage	(中山恒三郎	富永 力	(株)中山恒三郎商店	取締役社長)
板 金 工 作	歯 科 医 生	Dentist	Senior High School	(武藤 一	小 林 安 雄	(株)富士産業	代表取締役
高 等 学 校	送 風 器	Blower	Caterpillar	(名倉 健二	長 瀬 正 作	(株)東京リンク製作所	取締役社長
履 帯	タ ク シ ー 業	Taxicab Service	Upholstering	古 谷 英 太 郎	森 善 助	(株)ペイント・アート	代表取締役
室 内 装 飾 用 品	ビ ル 賃 貸	Building Renting	Foods Material Distributing	田 沼 文 衛	三 沢 君 夫	三沢合資会社	代 表 者
食 品 材 料 配 布	ボ ー リ ン グ 場	Bowling	Iron Building Industry	好 井 良 雄	岡 本 健	ミロク機械(株)	取締役社長

